

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成20年8月7日(2008.8.7)

【公表番号】特表2008-510862(P2008-510862A)
 【公表日】平成20年4月10日(2008.4.10)
 【年通号数】公開・登録公報2008-014
 【出願番号】特願2007-528628(P2007-528628)
 【国際特許分類】

C 1 1 D 3/37 (2006.01)

C 1 1 D 3/12 (2006.01)

C 1 1 D 17/08 (2006.01)

【F I】

C 1 1 D 3/37

C 1 1 D 3/12

C 1 1 D 17/08

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月17日(2008.6.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

増粘剤系として、

a) ジェランガムおよび

b) ポリアクリレート増粘剤、キサンタンガム、グァーフラワー、アルギン酸塩、カラギーナン、カルボキシメチルセルロース、ベントナイト、ウェランガムおよびキャロブフラワーから成る群から選ばれる増粘剤

を含み、かつ 2 ~ 20 重量%の脂肪酸石鹼を含むことを特徴とする、界面活性剤並びに更なる洗剤および洗浄剤の通常成分を含む水性液状洗剤および洗浄剤。

【請求項 2】

ジェランガムの量が 0.01 ~ 0.5 重量%、好ましくは 0.05 ~ 0.5 重量%であることを特徴とする、請求項 1 に記載の水性液状洗剤および洗浄剤。

【請求項 3】

ポリアクリレート増粘剤の量が 0.01 ~ 1.0 重量%、好ましくは 0.1 ~ 1.0 重量%であることを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の水性液状洗剤および洗浄剤。

【請求項 4】

キサンタンガムの量が 0.01 ~ 1.0 重量%、好ましくは 0.01 ~ 0.5 重量%であることを特徴とする、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の水性液状洗剤および洗浄剤。

【請求項 5】

最大寸法に沿った径が 0.01 ~ 10,000 μm である分散粒子を含むことを特徴とする、請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の水性液状洗剤および洗浄剤。

【請求項 6】

分散粒子がマイクロカプセルまたはスペckルであることを特徴とする、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の水性液状洗剤および洗浄剤。

【請求項 7】

脂肪酸石鹼の量が 4 ~ 10 重量%、好ましくは 6 ~ 8 重量%であることを特徴とする、

請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の水性液状洗剤および洗浄剤。

【請求項 8】

シート様布地構造物または硬質表面を洗浄するための請求項 1 ～ 7 のいずれかに記載の洗剤および洗浄剤の使用。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

この目的は、各々の場合で組成物全体に基づいて、増粘剤系として、

a) ジェランガムおよび

b) ポリアクリレート増粘剤、キサンタンガム、グァーフラワー(粉)、アルギン酸塩、カラギーナン、カルボキシメチルセルロース、ベントナイト、ウェランガムおよびキャロブフラワー(粉)から成る群から選ばれる増粘剤

を含み、かつ 2 ～ 20 重量%の脂肪酸石鹸を含むことを特徴とする、界面活性剤並びに更なる洗剤および洗浄剤の通常成分を含む、水性液状洗剤および洗浄剤によって達成される

。